

IT21の会(平成16年3月5日)第75回議事録

日時:平成16年3月5日(金)18時30分~20時45分

場所:日本技術士会 荻手第二ビル 5階A・B会議室

出席者:29名

配布資料

- ・0403-01 IT21の会 3月例会案内 (椎名高之氏)
- ・0403-02 平成16年度技術士CPD中央講座案内ほか (黒澤兵夫氏)
- ・0403-03 IT21の会 合宿会計報告 (近藤修平氏)
- ・0403-04 IT21全国展開支援WGの設立について (嶋田弘僧氏)
- ・0403-05 「IP電話の時代が来たぞ!」料金表付き (椎名高之氏)
- ・0403-06 気温と地震との優位性に着目した地震予知方法に関する考察 (犬伏裕之氏)
- ・0403-07 技術士業績論文発表募集のお知らせ (上田健之氏)

議事

1. 議事および資料の確認 椎名高之氏
2. 中央講座の紹介と新刊の紹介 黒澤兵夫氏
H16年度CPD中央講座年間カリキュラムの案内(4/10情報家電、5/15リスクマネジメント)と当会発行の現代社会における情報管理と技術に関する2冊の紹介があった。
3. 2月合宿の収支報告 近藤修平氏
4. 全国展開支援WGの設立について 嶋田弘僧氏
合宿のパネル討論で提案された上記ワーキンググループ設立の説明と参加募集を行った。
5. 「IP電話の時代がきたぞ!」 椎名高之氏
IP電話の動向を概観したあと、一般向けと企業向けに分けて、接続形態や何が変るかについて説明された。
1年半前から従来の電話番号のほかプロバイダごとに設定されるIP専用の050番号体系が加わった。050系の電話番号はプロバイダを変えないかぎり、引っ越しても変わらない。企業での050番号の採用は電話番号変更に伴うリスクを心配して慎重なところが多い。
年末からはこの050番号を固定電話からも発信できるようになった。それでも、米国の40倍もある日本のIP電話加入者が実際IP電話先にかけているのはまだ10%に満たない。しかし、すでにADSLを導入済みの個人ユーザならば、固定月額をそれほど増さずに距離に依存しない安い通話料を享受できるので、IP電話化するのが得策である。
企業向けでは、ネットワークの集中管理化など大規模ユーザのほうがコストメリットを出しやすい。そして電話移設はハブへのジャックインだけで済むので、従来のようなPBXとの連動電話工事が不要といった利点も享受できる。ただし、1点障害点を避ける設計がより重要となる。今秋には通信事業者が提供する法人向けIP電話サービスの機能や無線LAN端末などが実用レベルに達してくるので、大規模ユーザがLANの見直しを契機に、IP電話を導入する事例が増えてくるだろう。
6. 地震予知プロジェクトの進行状況 犬伏裕之氏
7. 技術士業績論文発表募集のお知らせ 上田健之氏
8. 初参加者の自己紹介(7名)

以上(記載者:安齊紘司)